

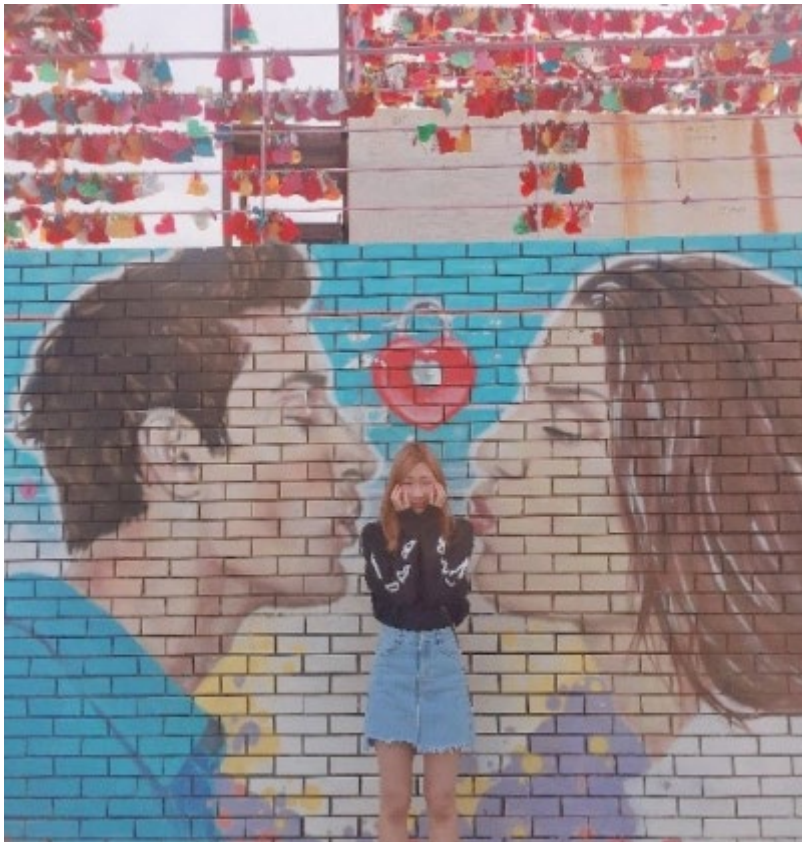
柴田さんは5か月の留学生活を終え今月(6月)末帰国予定のため、留学便りは最終回となります。3回に渡り勉強のことや学生との交流、釜山の様子を伝えてくれました。ありがとうございました！

留学便り 最終回

経営学部 4年 柴田美虹

みなさんこんにちは。帰国まで残り1ヶ月をきりました。時間の短さ、大切さをよく感じています。最近、学校がある釜山の有名な場所に出かけてきました。

一つ目は甘川洞文化村です。そこは、家屋を利用してアートを織り交ぜた町おこしを行っています。立ち並ぶ家屋にカラフルなカラーリングがされ、入り組んだ路地のあちこちにはアートオブジェが並び、ユニークで珍しい景色を楽しめるスポットです。地下鉄と市内バスを乗り継いで行くのが大変でしたがそれもいい経験になりました。





そして釜山自体、坂が多いのですが甘川洞文化村は山の上に位置しており釜山のマチュピチュと呼ばれる意味が分かりました。しかしそのため釜山を一望できる景色はとてもきれいでした。

二つ目は、広安里(クアンアルリ)です。海雲台(ヘウンデ)と並んで人気のあるビーチで、昼は水上スキーやヨットなどのマリンスポーツを楽しむ若者が多く、夜になるとライトアップされた広安大橋(クアンアンデギョ)を眺めながら、お刺身やチキンを食べることができます。

海沿いだったのでまだ少し肌寒かったのですが、夜景がとてもきれいで友達と楽しく交流することができました。



また、残りの1ヵ月間、勉強においても悔いのないよう、きちんと全うしようと思います。もうすぐで期末試験がありますし、帰国してからは韓国語能力試験が待っている所以総仕上げとして頑張ります。